

都市交通施策の再整理に関する検討会
拠点エリアワーキンググループ

大宮駅周辺のウォーカブルなまちづくりの取組み



2026年2月24日（火）
さいたま市 都市局 都心整備部
大宮駅東口まちづくり事務所

さいたま市の特徴

- 市の施策とSDGsを連動させ、持続可能なまちづくりを推進
- 全国市区・SDGs先進度調査で、さいたま市が全国 1 位

・ 市政運営の基本指針「さいたま市総合振興計画」で、各施策に SDGs の17ゴールを紐づけ



SDGs関連施策の代表例 : スマートシティさいたまモデル

脱炭素化・エネルギーセキュリティの強化

ハイパーエネルギーステーション※の整備・普及を推進し、平時の脱炭素化と災害時のエネルギーセキュリティの向上を図るもの。

※次世代自動車の燃料となる水素や電気をはじめとした多様なエネルギーを災害時も供給できる施設

※市内14か所に整備済。
(令和3年3月現在)



公共施設に設置されたハイパーエネルギーステーション

脱炭素化・強靱化・地域コミュニティの強化

再生可能エネルギーの地産地消による平時の脱炭素化と災害時のエネルギーセキュリティの確保、健康やコミュニティ等に寄与するスマートホーム・コミュニティの普及に向けた整備を推進。

※浦和美園E-フォレスト



スマートホーム・コミュニティ

脱炭素化・交通利便性・3密回避の強化

次世代自動車や自転車といった低炭素なモビリティの普及を促進することで、温室効果ガス削減と交通の利便性を強化。

※マルチモビリティシェアリングの実証事業を実施中。

- ・シェアサイクルポート
市内334か所 (令和3年6月末時点)
- ・シェアスクーターポート
市内11か所 (令和3年6月末時点)
- ・シェア超小型EVポート
市内7カ所 (令和3年6月末時点)



シェアサイクル・シェアスクーター



シェア超小型モビリティ

上記の取組などによって…

全国市区・SDGs先進度調査で、さいたま市が全国 1 位！

出典：「全国市区・SDGs先進度調査」(令和3年1月4日：日経グローバル誌掲載)

さいたま市の特徴

本市は都心を「大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区」、「浦和駅周辺地区」の2つを位置付けており、東北・北陸圏、北海道を連結する首都圏対流拠点として機能

○新幹線6路線をはじめ、13路線の鉄道

○高速道路網の発達

⇒東日本の玄関口として、
新たな「ヒト・モノ・情報」の流れを創出

大宮駅からの各所要時間

東北圏：仙台駅まで	約 66分
北陸圏：金沢駅まで	約 124分
北海道：新函館北斗駅まで	約 214分
都心：東京駅、新宿駅まで	約 30分
空港：羽田空港まで	約 60分
成田空港まで	約 76分

※大宮駅からの在来線または新幹線利用時の所要時間の目安



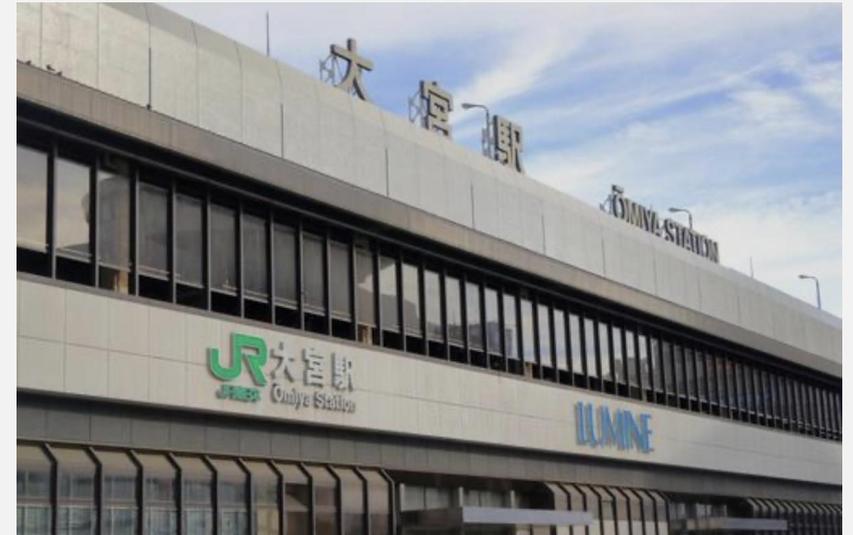
大宮の特徴

住みたい街（駅）ランキング 2025首都圏版

順位	駅名	合計
1	横浜駅	1,607
2	大宮駅	1,088
3	吉祥寺駅	868
4	恵比寿駅	826
5	東京駅	733
6	池袋駅	716
7	新宿駅	703
8	品川駅	690
9	目黒駅	656
10	渋谷駅	639

各駅の乗車人員 2024年度 （一日平均乗車人員）※1

順位	駅名	合計
1	新宿駅	666,809
2	池袋駅	499,128
3	東京駅	434,564
4	横浜駅	373,010
5	渋谷駅	324,414
6	品川駅	287,939
7	大宮駅	254,220
8	新橋駅	231,628
9	秋葉原駅	221,421
10	北千住駅	198,732

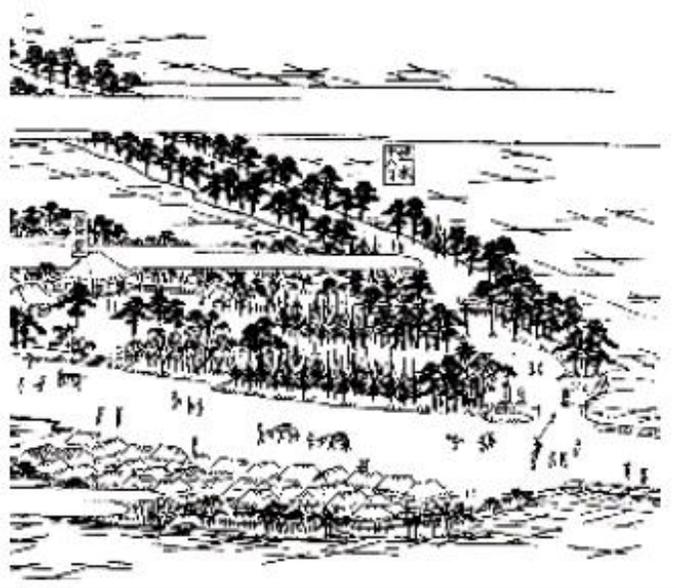


・ 路線数：13路線

（JR在来線、東武野田線、埼玉新都市交通伊奈線など）

出典：「SUUMO住みたい街ランキング2025首都圏版」
（株式会社リクルート住まいカンパニー）

出典：「JR東日本各駅の乗車人員2024年度」
（東日本旅客鉄道株式会社）
※1…JR東日本エリア内の乗車人員数で集計



氷川神社の門前町



中山道の宿場町

出典：
江戸名所図会「東光寺」

魅力的な路地空間



氷川参道の豊かな緑

都市部の神社としては、
日本一の長さを誇る（約 2 km）



大宮駅周辺のウォーカブルな取組みに関する計画的位置づけ

さいたま市総合振興計画

さいたま市都市計画マスタープラン

大宮駅周辺地域戦略ビジョン

【優先的に取組むべきプロジェクト】

おもてなし
歩行エリアの
形成

おもてなし
ひろばの
創出

複合的な
事業推進による
おもてなしまち再生

公共施設再編
による連鎖型
まちづくり

大宮駅周辺ウォーカブル推進戦略

活動編

ウォーカブルなまちづくりを
推進するためのコンセプトや考え方

計画編

ウォーカブルなまちづくりを
実現するための具体的な整備方針等

連携

大宮駅周辺の各街区
におけるまちづくり

- ・大宮駅周辺のまちづくり（大宮 GCS 化構想、大宮 GCS プラン 2020 等）
- ・大宮駅東口のまちづくり（公共施設再編、氷川参道のまちづくり等）
- ・大宮駅西口のまちづくり（第三地区まちづくり方針、第五地区まちづくり方針等）



大宮駅周辺
ウォーカブル推進戦略

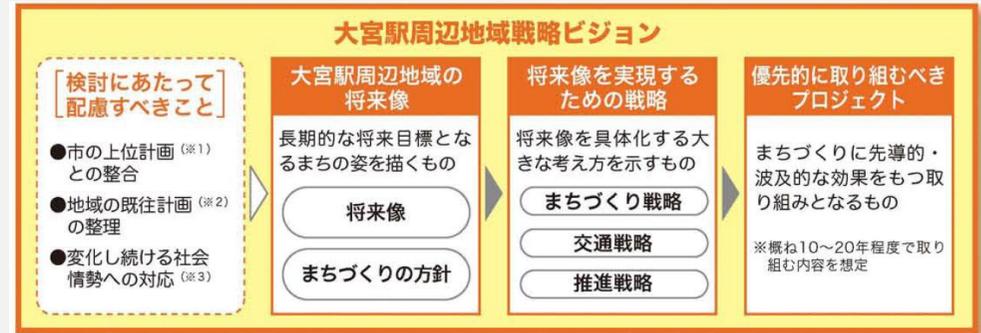


大宮駅周辺地域戦略ビジョン

大宮駅周辺地域戦略ビジョン
 ~おもてなしあふれる東日本の顔を目指して~
 2010

大宮駅周辺地域は政令指定都市さいたま市の「顔」であると同時に、東日本における首都圏の玄関口となっています。大宮らしさを活かし、育て、時代の潮流に対応しながら、民と官が共有できる将来の姿とそれに至るための道筋となる戦略をとりまとめたものが「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」です。

概ね10~20年で
 取り組む内容を想定



戦略ビジョン：優先的に取り組むべきプロジェクト

プロジェクト1 「おもてなし歩行エリア」の形成

人が集まる大宮駅を中心に、道路整備や周辺の市街地整備と連携しながら、歩行者や自転車、公共交通を優先する交通体系へ転換し、誰もが安全に、まち歩きを楽しめる時間消費型のまちの実現を図ります。

■歩行空間の快適化

- 面的な交通規制や歩行空間の改善、緑化や景観形成、情報サービスの充実など、ソフトとハードの両面から歩行空間の快適化を図ります。
- 当面の具体化を目指すエリアや将来的な目標とするエリア等を設定し、段階的な実現を目指します。

■シンボル都市軸の整備

- 氷川参道の緑との連続化を図るとともに、歩行者や自転車の空間整備を推進します。
- まちの顔にふさわしい沿道景観の形成や眺望を確保します。

■東西連絡の強化

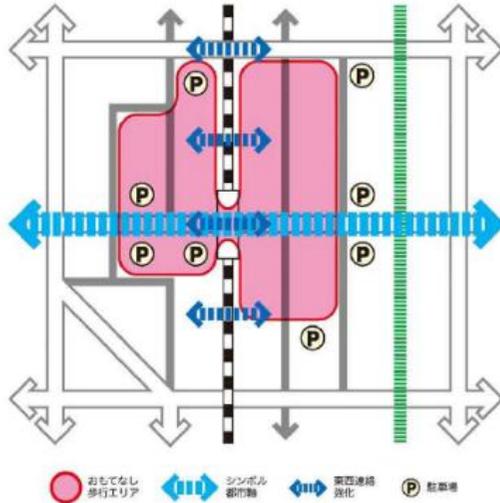
- 東西連絡路の利便性を改善するなど、東西連絡の強化について検討します。

■駐車場・荷さばき交通の整序

- 駐車場出入口の改善、集約駐車場の整備、荷さばきに関するシステム構築などにより、道路の出入りに伴う渋滞や歩行者との交錯を軽減します。

■自転車や公共交通の利用環境改善

- 自転車ネットワークや駐輪場を整備します。
- レンタサイクルやパークアンドライド等のサービス、バスなど歩行者の移動をサポートする交通手段を提供します。



プロジェクト2 「おもてなしひろば」の創出

まちなかのにぎわいや回遊の促進、都市の安全性や環境向上などに寄与する「機能」と、人が集い、憩い、楽しめる「空間」を備えた、大小さまざまな「ひろば」をまちのいたるところに配置することで、まち歩きの魅力を高めています。

■駅前ひろば

- 広域からの来街者も日常利用者も共通して誇れるまちの顔を創出します。
- 交通結節機能だけでなく、人優先の空間としての整備を進めます。

■まちなかひろば

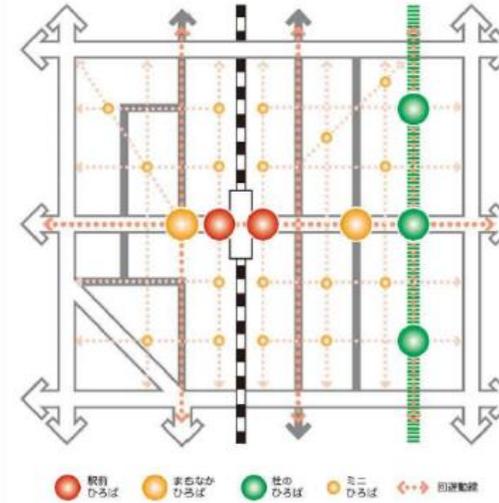
- 駅前からまちなかへ人をひきつける魅力ある空間と機能を持たせることで、駅前の賑わいを広げます。
- 東口では、周辺街区の整備とあわせて「ひろば」を創出し、西口では、既存の鐘塚公園やイベント広場のより一層の活用を図ります。

■杜のひろば

- 氷川参道の緑を抜け、参道散策の立ち寄りスポットとして都心全体の回遊性を高めます。
- 新たなひろばの創出とともに、既存の平成ひろば、一の鳥居ひろばの活用促進を図ります。

■ミニひろば

- 人々の憩いスポットをまちの各所に生み出し、高密度な市街地の環境を改善します。

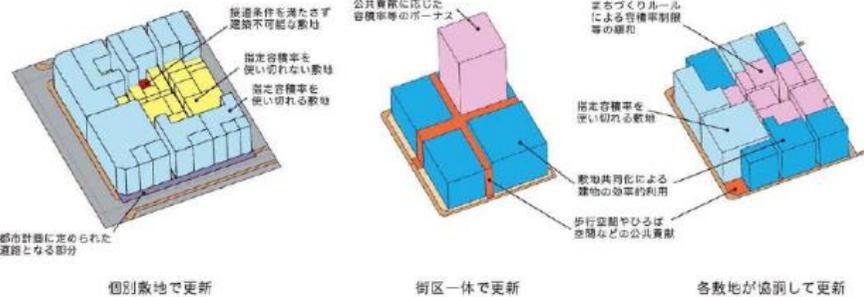


プロジェクト3 複合的な事業促進による「おもてなしまち再生」

複合的な機能や事業を組み合わせせた街区再編・整備の事業化を推進し、拠点機能の強化や基盤整備などを促進するとともに、商業環境のポテンシャル発揮、民間活力を活かした公的空間や機能の導入を図ります。

様々な街区再編・整備のイメージ

※単純化したモデルによるイメージであり、実際の敷地に応じて、今後具体的な検討を行っていくものです。

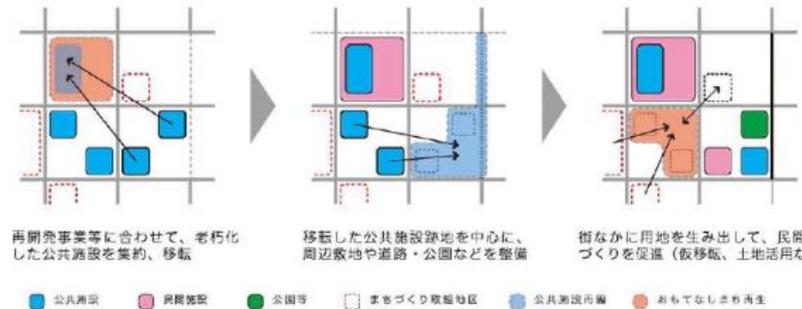


プロジェクト4 公共施設再編による「連鎖型まちづくり」

公共施設・用地や大規模用地の再編・土地利用転換などをきっかけとし、まちづくりに活用できる土地を創出し、連鎖的に駅周辺地域内のまちづくりの活性化を図るとともに、高次都市機能の導入や基盤整備、公共空間や機能の導入を図ります。

まちづくりの展開イメージ

※単純化したモデルによるイメージであり、実際に敷地に応じて、今後具体的な検討を行っていくものです。



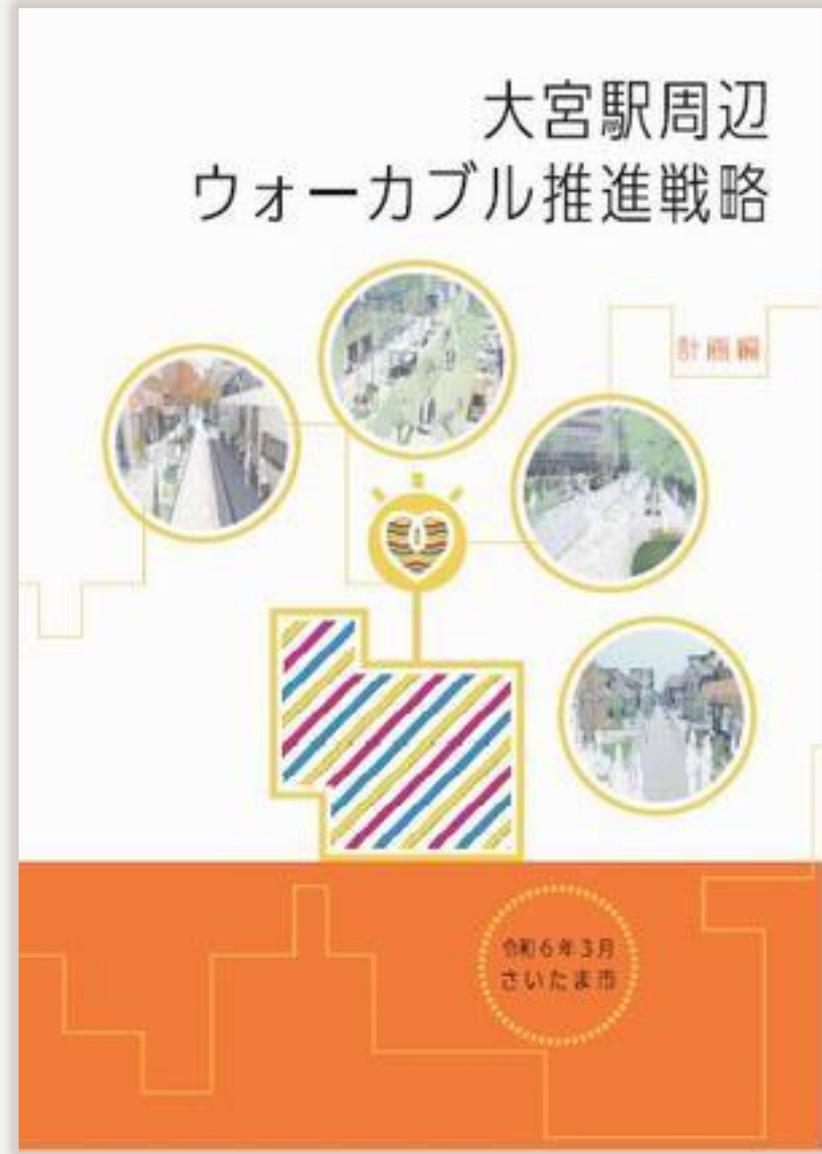
大宮駅周辺ウォーカブル推進戦略（活動編・計画編）

■ 活動編



ウォーカブルなまちづくりを推進するための「コンセプト」や「考え方」に重点を置いて策定

■ 計画編



空間整備・制度・エリア別方針を具体化することを推進するものとして策定

マチミチコンペIN大宮ウォーカーブルシティ



募集期間

2021.12.1水 →
2021.12.24金

モデルプロジェクト部門

最優秀賞 (1作品) 賞金 **50** 万円

優秀賞 (1作品) **25** 万円 | 入賞 (3作品) **5** 万円

プレイヤー部門

入賞 (5作品) **5** 万円 | 会場人気投票特別賞 (1作品) **10** 万円
※入賞作品の中から選考



大宮らしさを活かした、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成に向けたアイデアを“コンペ”形式で募集しました！

【テーマ】

大宮の歴史・文化等の「大宮らしさ」を活かした、人中心で居心地が良く歩きたくなる「ウォーカーブル」なまちづくり

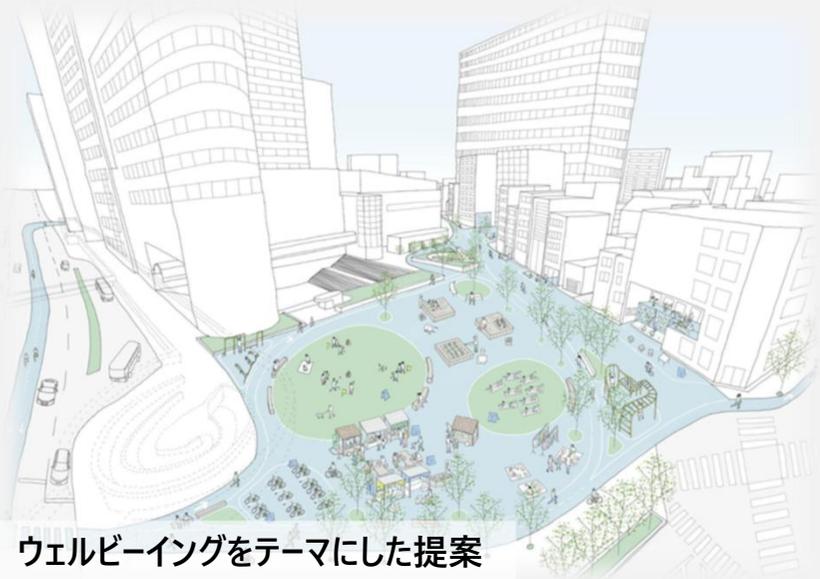
【部門】

- 1) モデルプロジェクト部門…中長期的（概ね10～20年）に実現を目指すプロジェクト
- 2) プレイヤー部門…短期的（概ね1～3年）に着手することのできる実践型のプロジェクト

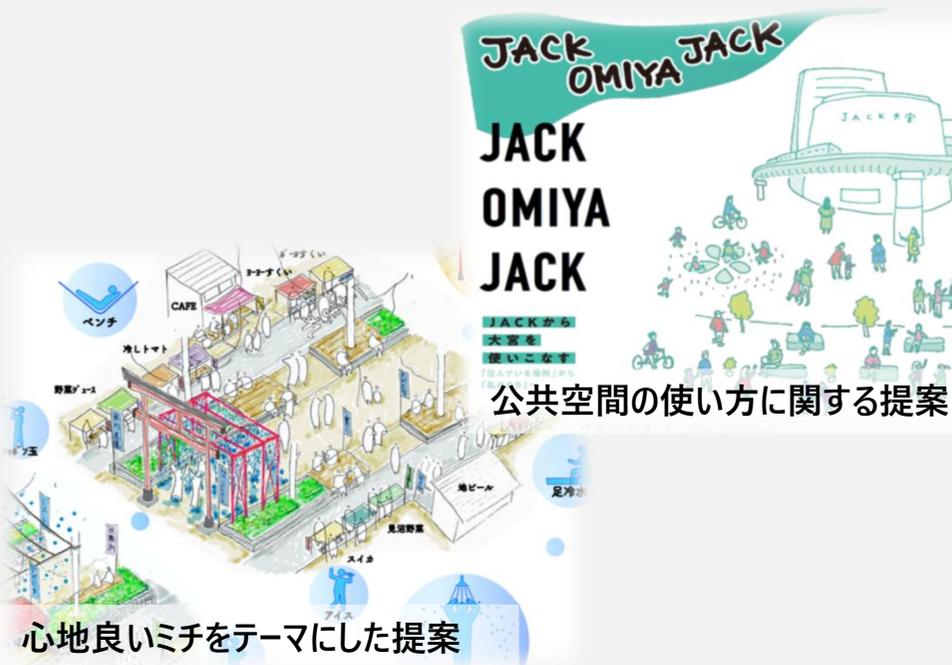


マチミチコンペ入賞作品

○ モデルプロジェクト部門



○ プレイヤー部門



大宮駅周辺ウォーカブル推進戦略 作戦会議

マチミチコンペのアイデアを参考に、「大宮駅周辺ウォーカブル推進戦略」をとりまとめに向けた意見交換をすること、また、今後のまちづくりを推進するプラットフォームの立ち上げに向けた足掛かりにすることを目的に、作戦会議を実施。



【パネリスト】

- ・ マチミチコンペ審査員・入賞者
- ・ アーバンデザインセンター大宮
- ・ さいたま市

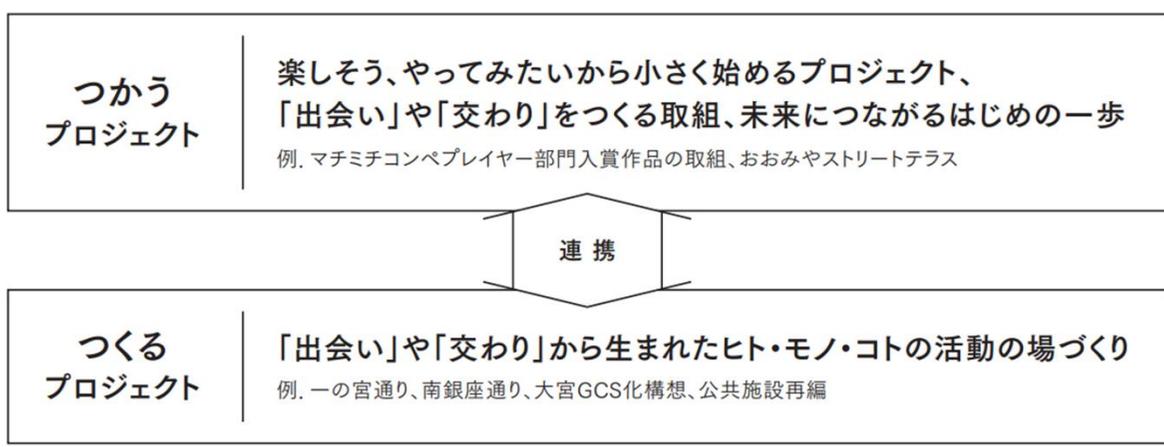
【会議出席者】

- ・ 地元まちづくり団体、企業者、教育機関（大学）

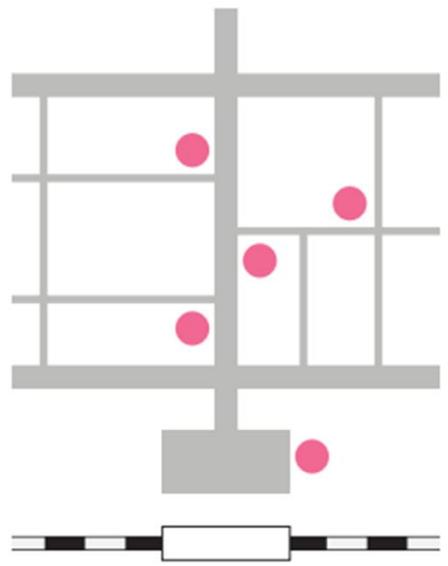
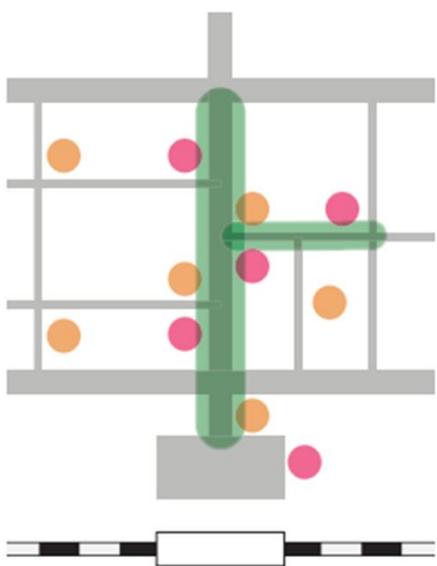
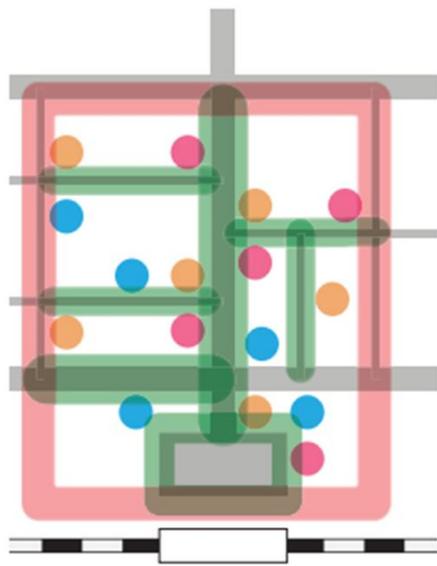
【会議内容】

- 「大宮らしさ」、「大宮が目指すウォーカブル」の検討
- 大宮が目指す姿の共有
- 推進戦略の「目指す姿」の共有 など

大宮駅周辺ウォーカブル推進戦略の考え方



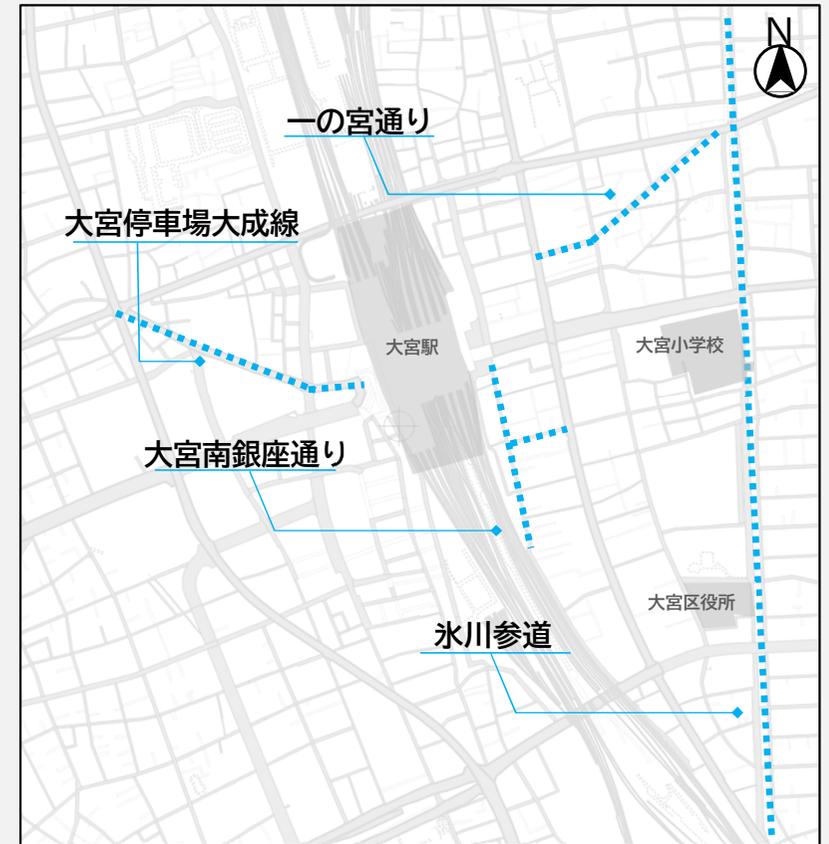
つかいながらつくる、
つくりながらつかうことで、
プレイス、ストリート、エリアが
連鎖的に広がっていくことを目指
します。

	プレイス(点)	ストリート(線)	エリア(面)
			
まち	<ul style="list-style-type: none"> 空間を活用した取組がランダムに発生 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の取組がストリートでつながる ストリート沿いに新しい活動が誘発される 	<ul style="list-style-type: none"> ストリートの活性化の連鎖により、エリアとしての魅力が高まる

ストリーートの“つくる”プロジェクトの具体例



案内図



一の宮通り

大宮駅東口から氷川参道やNACK5スタジアム等をつなぐ細街路

■事業内容

- ・電線類の地中化
- ・舗装の美装化
- ・道路附属施設の更新
- ・荷捌き車両スペースの設置
- ・歩行者空間の拡張 等



永川神社の歴史や大宮アルディージャの
活力を活かした、一体感とにぎわいのある商店街
一の宮通りの実現に向けて

～ストリートデザイン方針～



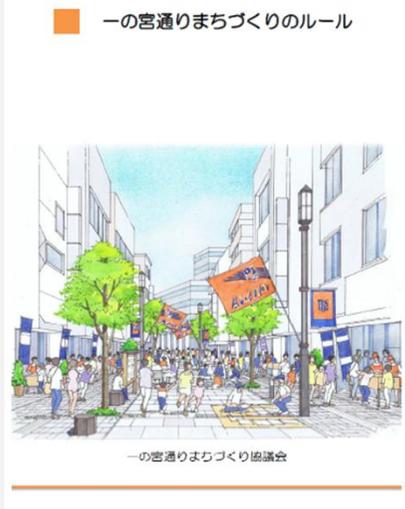
一の宮通りまちづくり協議会



イメージパース（イベント時）



イメージパース（平常時）



▲地域まちづくりルール、一の宮通り整備方針

氷川参道

2400年以上の歴史をもつといわれる武蔵一宮氷川神社まで全長約2kmの参道
案内図

■事業内容

- ・H26年より氷川参道の歩行者専用化検討
- ・歩行者専用化の交通規制
- ・舗装の美装化



▲歩行者専用化整備済区間



▲歩行者専用化未整備区間



▲平成ひろば

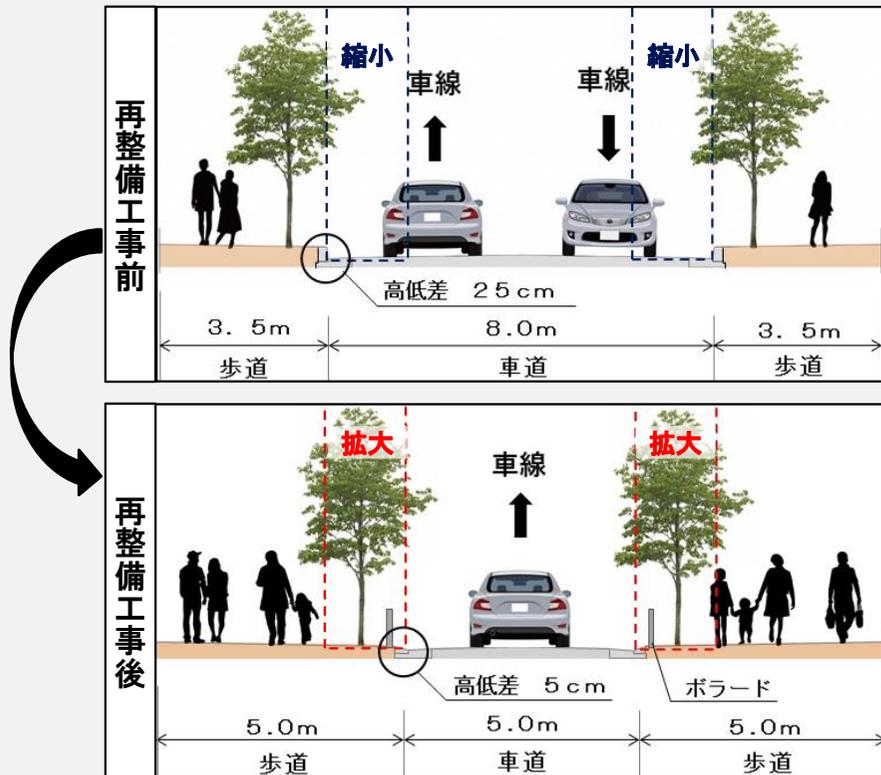


県道大宮停車場大成線（駅前区間）

大宮駅から国道17号を結ぶ一般県道。

■事業内容

- ・交通規制の変更(一方通行化)
- ・車道と歩道の幅員の再配分
- ・道路の美装化等
- ・地元団体による道路空間の利活用 等



▲再整備工事前後の断面比較



▲地元団体による道路空間利活用の社会実験の様子 (広場、歩道)

大宮南銀座通り

大宮駅直近に位置し、数多くの飲食店が集積する県内随一の繁華街。

■事業内容

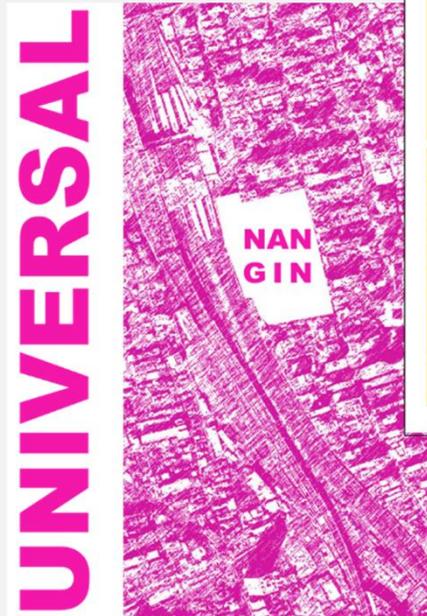
- ・舗装の美装化、無電柱化工事
- ・街並み誘導型地区計画の策定
- ・本整備に向けた暫定整備の実施



イメージパース

大宮南銀座における街路整備の骨子

<p>骨子① 整備対象範囲</p> <p>南銀座通りと片倉新道の合計約470mを4工区に分けて、段階的に整備します。</p>	<p>骨子② 無電柱化</p> <p>無電柱化（電線類地中化）により下記を表現します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●緊急車両の通行確保 ●都市災害の防止 ●快適な歩行空間 ●美しい街路景観
<p>骨子③ 道路拡幅</p> <p>歩道拡幅が可能な範囲を確保するため、両面の建築物の床高を道路中線から一定距離（概ね4mを想定）をセットバックします（現在の道路幅は約3.0~3.5m）。</p> <p>セットバックに伴い、整理ある街並みを創出することも、自転車や道路利用者を確保する制度の導入も検討します。</p>	<p>骨子④ 道路整備</p> <p>高品質でファッション性の高い道路整備を行います。照明等の選定にも配慮し、魅力的な道路空間を演出します。</p>



暫定整備（舗装）



整備前

▲まちづくりコンセプト、街路整備の骨子

エリアの“つくる”プロジェクトの具体例

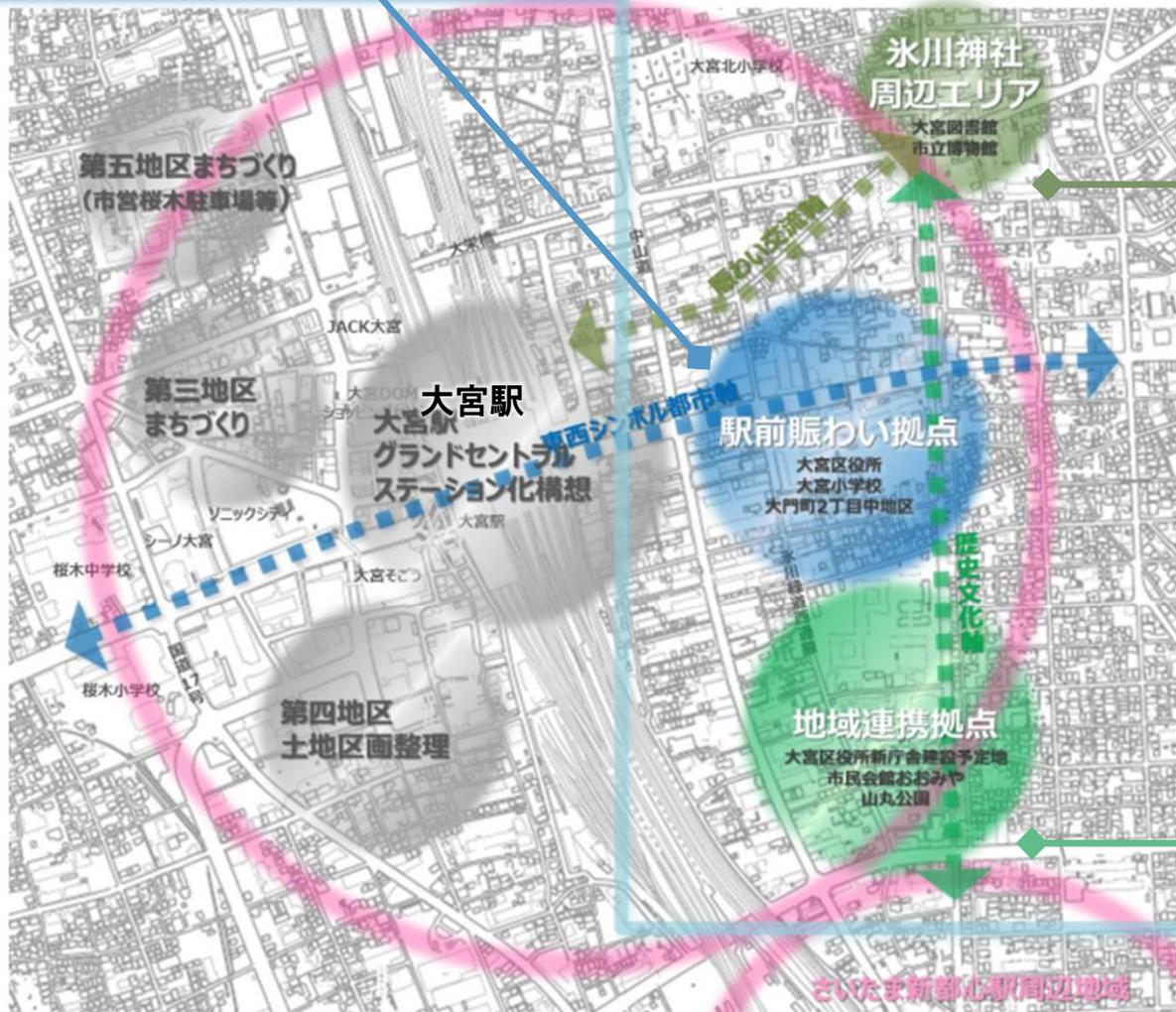
まちづくりのコンセプト

ターミナル駅“大宮”至近の
居心地の良いみどり
(ひろば)

×

質の高いコンテンツ
(賑わい、学び・交流)
(融合)

公共施設再編による 連鎖型まちづくり



Bibli(旧大宮図書館)



区役所新庁舎



大宮図書館



“つかう”プロジェクトを推進するための体制

【推進戦略

(計画編)

つくるプロジェクト

連携

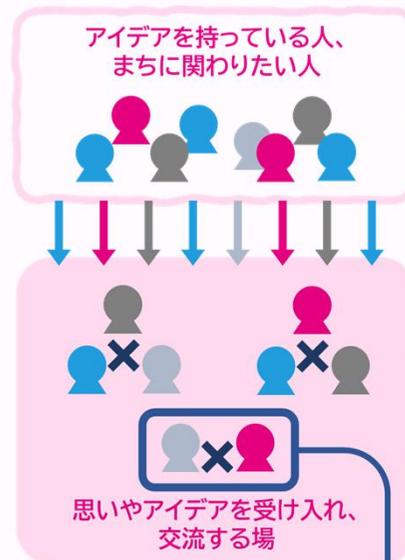
【推進戦略（活動編）】

つかうプロジェクトを推進するための体制

マチミチミーツ@おおみや

- ・おおみやの「人」を知ることを通じて、まちに関わるきっかけづくりとなる「まちの交流会」
- ・まちづくり活動を行うプレイヤーの発掘するため、まちづくりに関わるキッカケづくりをつくるために登壇者（大宮周辺で活動する方を選定し、大宮周辺での活動内容を講演）と参加者が意見交換などの交流を行う市民参加型交流会を開催

主催：アーバンデザインセンター大宮



(仮称) OMIYA STREET TERRACE CLUB

- ・主体的に運営する熱意を持った地域プレイヤーによる実行委員会を設置。
- ・大宮駅周辺の街路空間利活用を目的とした、地域プレイヤーの事業と公益性がマッチしたコンテンツを展開

主催：実行委員会



写真提供：アーバンデザインセンター大宮(UDCO)

“つかう” プロジェクト具体例



ストリートデザインスクール

地域プレイヤーの発掘と育成を目的として、公民連携によるまちづくりを学ぶ都市再生推進法人であるUDCOが主催する実践型人材育成プログラム

■開催実績:

令和3～5年度 @大宮

令和6年度 @大宮、@札幌、@杉戸

ストリートデザインスクールで学べること

ストリートデザインスクールは、ストリートを舞台に公民連携によるまちづくりのリアルを学ぶ「実践型スクール」です！
2017年よりストリートテラスをはじめとする街路利活用に取り組んできたアーバンデザインセンター大宮[UDCO]が主催し、受講生と伴走する3ヶ月間のプログラムを提供します。UDCOのノウハウ・フィールド・ネットワークをベースに、まちの課題解決と価値創出に繋げるストリートデザインのプロセスを実践することができます！

ひとを巻き込みまちを動かす“プレイヤーを育成するため”に

都市空間を利活用するためのルールを理解する

ストリート

各種制度・許可申請
関係者協議・効果検証

地域課題を抽出し
まちの価値を可視化する

デザイン

行政計画・地域課題
企画立案・広報戦略

継続性を意識して
プロジェクトを実装する

マネジメント

出店交渉・事業構築
空間計画・収支計画

実践を通して“3つのスキルセット”を学ぶことができる



写真提供：アーバンデザインセンター大宮



写真提供：アーバンデザインセンター大宮



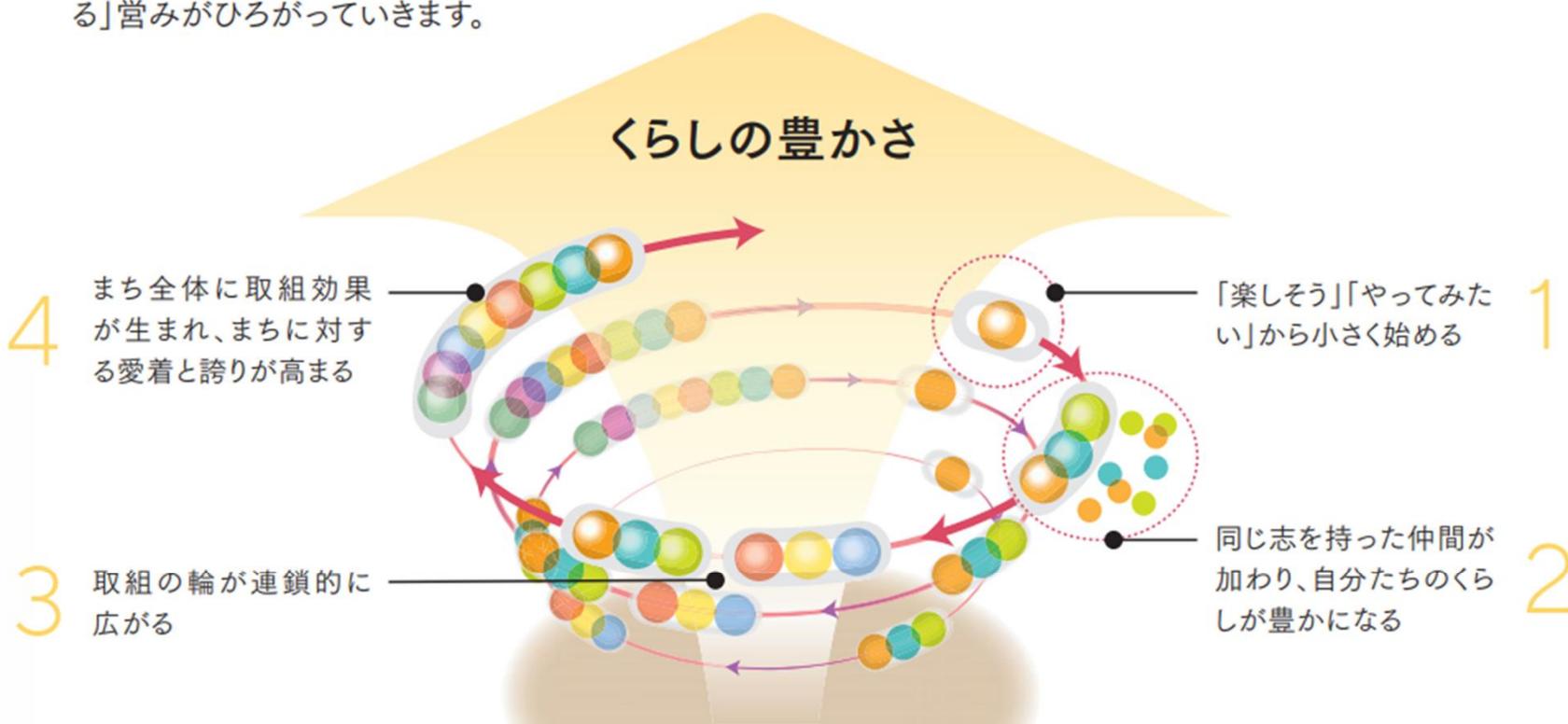
写真提供：アーバンデザインセンター大宮

①大宮のウォーカブルコンセプト

「わたしの時間がみちるまち、大宮」

「みちる」がひろがる考え方

コンセプトの説明 「みちる」ためにはまず、ひとりひとりが楽しむことが大切です。その営みによって、自分のくらしが豊かになっていくことを実感することで、「じぶんごと化」し、様々な関わり方によってまちに「みちる」営みがひろがっていきます。



これまでのまちづくり＝“土台”

ヒト、モノ、情報が集結する
東日本の対流拠点

来街者のおもてなしに
重きをおいたまちづくり

東京に働きに出るための
ベッドタウン

まとめ 大宮駅周辺のウォーカブルなまちづくり

②ウォーカブルな空間形成に向けて

⇒公民連携体制の構築

⇒地域プレイヤーの発掘・育成

⇒公共空間利活用によるまちの活性化



写真提供：アーバンデザインセンター大宮



写真提供：アーバンデザインセンター大宮

▲道路予定区域と民有地の一体利用



写真提供：アーバンデザインセンター大宮



写真提供：アーバンデザインセンター大宮

▲沿道施設と歩道の一体利用



▲未利用地（駐車場）の有効利用

Fin.

【参考資料】大宮駅周辺まちづくりプロジェクトマップ（表）

大宮駅周辺地域戦略ビジョン まちづくりプロジェクトマップ

— 凡例 —

- ① 都市開発に関するプロジェクト
- ② 交通基盤整備、駅機能の高度化、道路整備等のインフラ整備に関するプロジェクト
- ③ 公有地活用等に関するプロジェクト
- ④ ウォーカブル（ソフト面）に関するプロジェクト
- ⑤ 各プロジェクトの対象区域
- ⑥ 各プロジェクトの対象区画
- ⑦ ターミナル地区の範囲（大宮駅グランドセントラルステーション化構想の対象区域）

さいたま市HP
「大宮区内のまちづくり」は
こちらから



大宮駅西口エリアのまちづくり

都市開発

- 大宮駅西口第3-A・D地区市街地再開発事業
商業施設、オフィス、住宅などを整備。
事業主体：大宮駅西口第3-A・D地区市街地再開発組合
- 大宮駅西口第3-B地区市街地再開発事業
大宮サクラスクエアとして、2024年開業。
商業施設、オフィス、住宅などを整備。
事業主体：大宮駅西口第3-B地区市街地再開発組合
- 大宮駅西口第3-C地区市街地再開発事業
検討主体：大宮駅西口第3-C地区市街地再開発準備組合
- 大宮鐘塚B地区の再開発
事業主体：未定
- 大宮鐘塚C地区市街地再開発事業
オフィスを整備。2021年開業。事業主体：個人
- 大宮駅西口第四地区土地区画整理事業

交通基盤整備

- 桜木1号線整備事業 ⑩ 大宮停車場大成線再整備事業
新設道路、幅員16m、歩道の空間配分見直しや段差の解消。一部区間は2024年に供用開始。
- 桜木2号線整備事業 ⑪ 桜木大成1号線整備事業
新設道路、幅員15m、新設道路、幅員19m。
- 上落合桜木線整備事業 ⑫ 桜木大成2号線整備事業
既存道路を幅員25mへ拡張。国道17号線との交差点を改良。

（仮称）パスタ大宮

公有地活用

- 桜木駐車場用地活用事業
「東日本の対流拠点の形成に資する機能の導入」と「周辺まちづくりとの連携」を図る事業。2027年開業予定。
事業主体：大和ハウス工業株式会社、大和ハウスリアルティマネジメント株式会社、東日本旅客鉄道株式会社
- 大宮駅西口第五地区公園整備事業

大宮駅東口エリアのまちづくり

都市開発

- 大宮駅東口大門町2丁目中地区市街地再開発事業
大宮門街として、2022年に開業。
商業施設、オフィス、市民会館などを整備。
事業主体：大宮駅東口大門町2丁目中地区市街地再開発組合
- 大宮駅東口大門町3丁目中地区市街地再開発事業
埼玉県下の都市再生特別地区として都市計画決定。
商業施設、オフィスを整備予定。検討主体：大宮駅東口大門町3丁目中地区市街地再開発準備組合

交通基盤整備

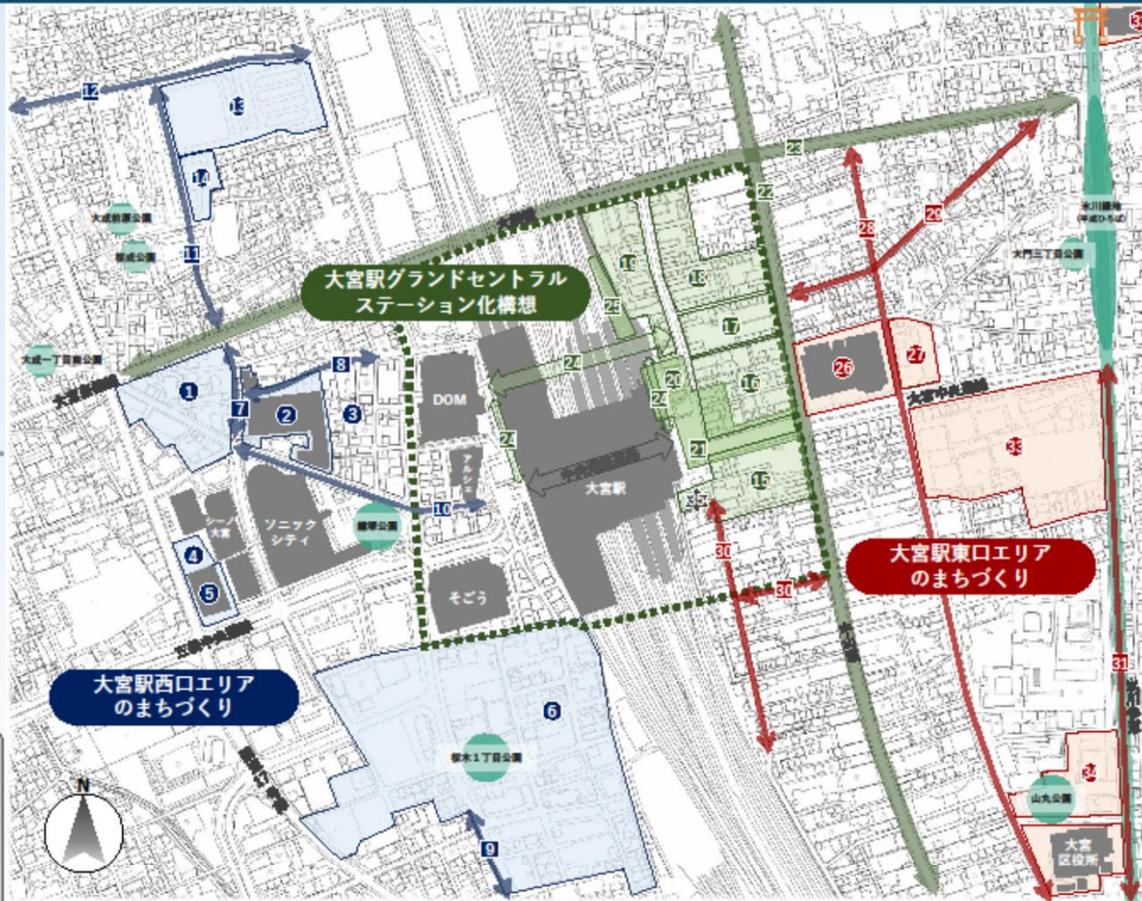
- 氷川線西通線整備事業
既存の道路を幅員13mへ拡張し、相互通行化。
一部区間は2019年に供用開始。
- 一の宮通り街路整備事業
大宮駅と氷川参道をつなぐ参道として、歩きたくなる落ち着いたデザイン・リニューアル予定。
- 南銀座通り街路整備事業
県内屈指の繁華街として、明るく活気溢れるでも楽しめる地区を目指す。その一環として、一部区間で美装化整備を実施。

（仮称）パスタ大宮

- 氷川参道歩行者専用化事業
「大宮の歴史と伝統」を実感させる参道を目指し、快適な歩行空間を創出。一部区間は2019年に供用開始。

公共施設の再編/公有地活用

- 氷川神社周辺エリアのまちづくり
旧大宮図書館、市立博物館の敷地を対象に検討中。
氷川神社周辺という立地に相応しい魅力的な土地利用により氷川の歴史・文化を継承・発信し、地域資源と調和した空間を演出するエリアを目指す。現在、旧大宮図書館の建物はBibliとして活用中。
- 駅前賑わい拠点のまちづくり
旧大宮区役所・大宮小学校等の敷地を対象に検討中。
東日本の対流拠点の実現に向けて大宮GCS化構想と連携するとともに、大規模な土地利用によって東日本の拠点性を高める機能を導入する拠点を目指す。
- 地域連携拠点のまちづくり
旧市民会館おみやや・山丸公園の敷地を対象に検討中。
大宮駅とさいたま新都心駅の間に位置する立地を生かし、地域間の連携や回遊性を向上する連携・ネットワークの拠点を目指す。



大宮駅西口エリアのまちづくり

大宮駅東口エリアのまちづくり

大宮駅グランドセントラルステーション化構想（大宮GCS化構想）

東日本各地を繋ぐ日本有数のターミナル駅「大宮駅」を核としたターミナル街区を中心に、東日本の対流拠点としての機能強化を図り、誇るべき都市としての地位確立に向けたまちづくり



駅周辺街区のまちづくり（都市開発）

- 大宮駅東口南地区市街地再開発事業
検討主体：大宮駅東口南地区市街地再開発準備組合
- 大宮駅前大門町一丁目中地区市街地再開発事業
検討主体：大宮駅前大門町一丁目中地区市街地再開発準備組合
- 大宮駅東口北地区市街地再開発事業
検討主体：大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合
- 大宮駅東口宮町一丁目中地区市街地再開発事業
検討主体：大宮駅東口宮町一丁目中地区市街地再開発準備組合
- 大宮駅東口西地区N街区市街地再開発事業
検討主体：大宮駅東口西地区N街区市街地再開発準備組合
- 大宮駅東口西地区S街区のまちづくり
検討主体：大宮駅東口西地区S街区まちづくり協議会

交通基盤整備

- 大宮駅東口駅前広場整備
快適な乗換空間を実現する「交通広場」と、人が集まり賑わいが生まれる憩いの「交流広場」を新たに整備。
- 中山道地下バイパス化
交通渋滞の緩和のため、地下に2車線のバイパス道路整備を検討。
- 大宮岩槻線4車線化
交通渋滞の緩和のため、現況の2車線道路から4車線への拡張を検討。
- 駅機能の高度化
- 大宮駅新東西通路・南北通路整備
24時間利用できる通路を整備。電車の乗換もしやすくなって便利に。
- 東武大宮駅改良
新東西通路の整備にあわせて駅を機上化。ホームは2面3線化を検討。

大宮ウォーカブルシティ OMIYA WALKABLE CITY

居心地がよく歩きたくなる、ウォーカブルの取組み

▼ハード面のプロジェクト

7 桜木1号線整備事業	23 氷川線西通線整備事業
8 桜木2号線整備事業	24 一の宮通り街路整備事業
9 上落合桜木線整備事業	25 南銀座通り街路整備事業
10 大宮停車場大成線再整備事業	26 氷川参道歩行者専用化事業

▼ソフト面のプロジェクト ※実施時期や場所はおおよそです。

- OM TERRACEの屋上活用
- ストリートランチ
道路空間や民有地の軒先空間などを活用し、飲食物のテイクアウト販売やキャッチカー販売を実施。
- ストリートプランツプロジェクト
企業や地域住民等が協力して、道路空間に可動式の買える緑を配置。緑豊かな居心地の良いパブリックスペースを創出。

【参考資料】公共空間利活用事例／おおみや街もり倶楽部

- 活動目的：「みどりの環境」が人に及ぼす影響を応用したまちづくりの試行を目的とする。
- メンバー：地元活動団体とランドスケープ経営研究会で構成
 - ・アートフルゆめまつり実行委員会
 - ・ランドスケープ経営研究会
 - ・公益社団法人やどかりの里
- 活動内容：大宮門街前歩道部を対象として、植樹を使用した涼風ラウンジを設営し、快適空間の創出を行います。
植樹したプランターを通して、地域住民との協働による「みどり」の育成・里親制度の推進を図り、みどり豊かなまちづくりを進めます。
- 道路占用：さいたま市後援のもと、地域活性化に資する道路占用の規定により道路占用を減免
- 活動実績：R6年度 令和6年7月26日（土）～28日（月）
R7年度 令和7年7月19日（土）～27日（日）



【参考資料】公共空間利活用事例／OMIYA STREET WARDROBE部会

- 活動目的：大宮中央通りに古着文化をつくることを目的とする。
- メンバー：UDC0が主催するストリートデザインスクールの修了生から構成
 - ・令和4年度スクール受講修了生
 - ・アーバンデザインセンター大宮
- 活動内容：大宮門街前歩道部を対象として、古着販売と飲食販売のイベント開催
- 道路占用：さいたま市後援のもと、地域活性化に資する道路占用の規定により道路占用を減免
- 活動実績：R4年度 令和4年11月12日（土）
R5年度 令和5年10月28日（土）
R6年度 令和6年11月17日（日）
R7年度 令和7年 6月 8日（日）



写真提供：アーバンデザインセンター大宮

【参考資料】 公共空間利活用事例／チル・シル・アルク部会

■活動目的：都市にくつろぎの場を創出し、大宮のローカルな魅力を伝え、まち歩きへ導くことを目的とする。

■メンバー：UDCOが主催するストリートデザインスクールの修了生から構成

- ・令和6年度スクール受講修了生
- ・アーバンデザインセンター大宮

■活動内容：まち歩きマップの作成、飲食販売と滞在空間の創出のイベント開催

■道路占用：さいたま市後援のもと、地域活性化に資する道路占用の規定により道路占用を減免

■活動実績：R7年度 令和7年5月11日（日）



写真提供：アーバンデザインセンター大宮

【参考資料】公共空間利活用事例／STREET PLANTS

STREET PLANTS PROJECT

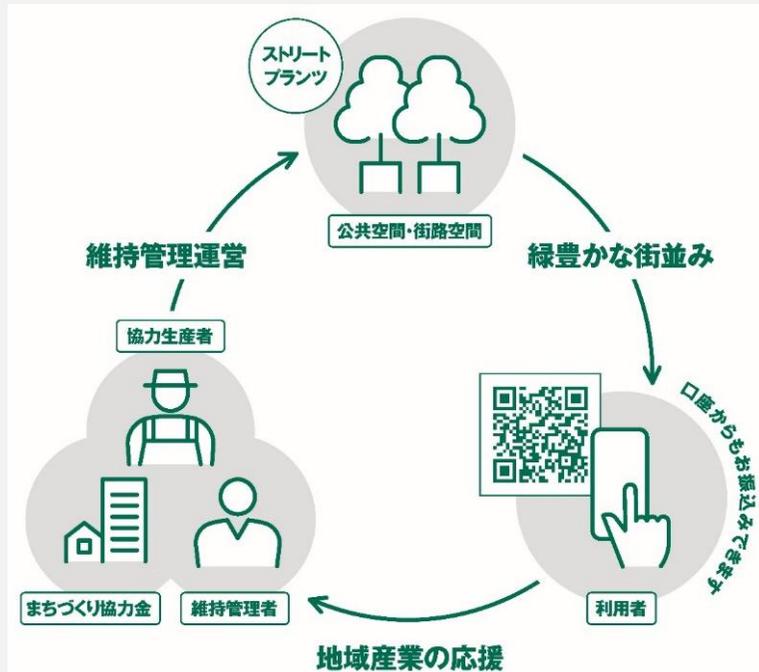
ストリートプラントプロジェクト

大宮の植木文化を復活させて
ストリートに
緑でうるおいをつくろう

VISION

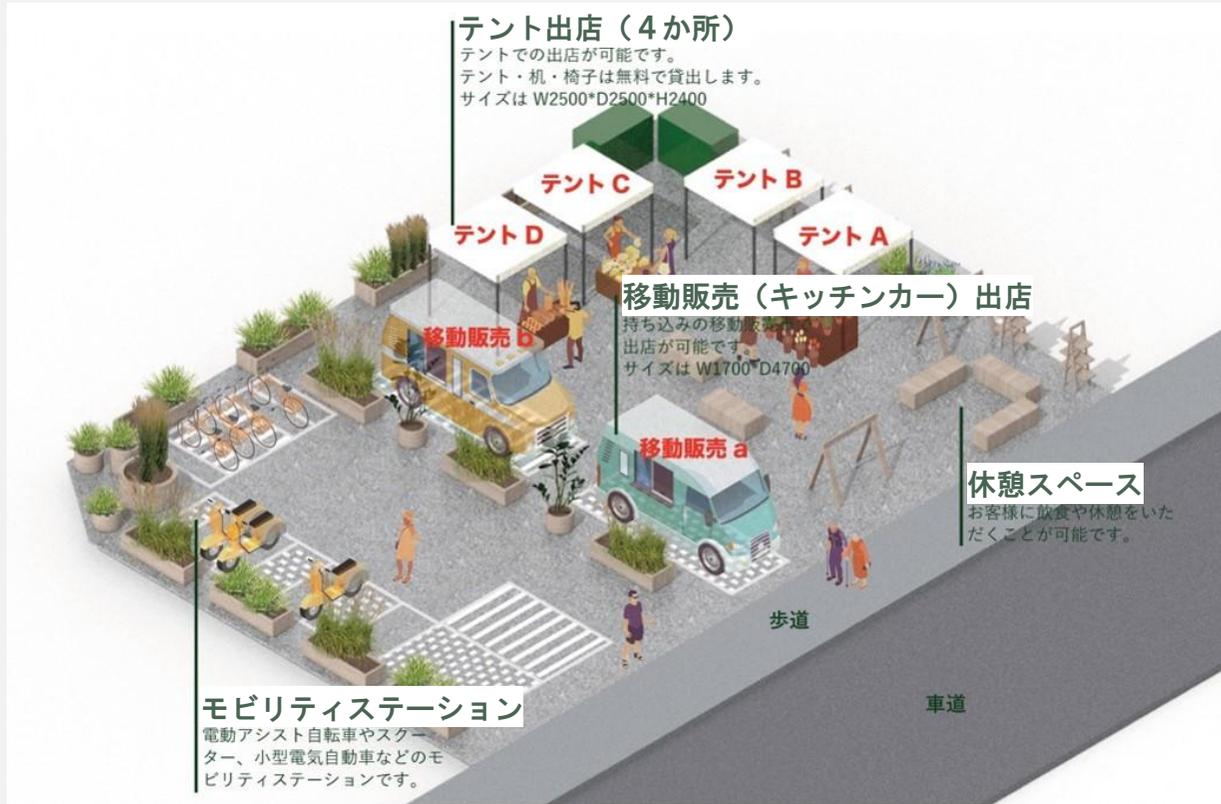
- 1 | 大宮の歴史の発掘＋地元産業支援]
- 2 | 緑化による滞在性向上]
- 3 | 維持管理の継続]

STREET PLANTS SYSTEM



【参考資料】交通モビリティとしてのウォーカーブル

- 大宮ぱらっと
まちなかの交通と生活サービスのハブとなるスペース



モビリティステーション

※現在は電動アシスト自転車・電動サイクル(特定小型原動機付自転車)・スクーターシェアの3種類を運用